

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103797
法人名	医療法人博愛会
事業所名	グループホームしらさぎの里
所在地	愛媛県松山市菟川1丁目2 - 28
自己評価作成日	平成22年5月13日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

協力医療機関があり医療の連携体制整っている。当法人の訪問看護と提携しており適切な医療看護がうけられる。併設のデイに参加できるようになっている、理学療法士の指導のもと身体機能の維持向上をめざしている。理念にもとづくケアをスタッフが一顧となり取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

散歩に出かけた際には、出会う方と挨拶をされたり、近所のお宅の花を見せてもらうようなこともある。地域のボランティアの方々が併設デイケアに来られる際には、希望する利用者は参加して踊りを見たり、一緒に歌を歌ったりしておられる。運営推進会議時「認知症の勉強会」を行った際には、案内チラシを管理者が地域の方達に配って回り、参加を呼び掛けられた。勉強会には、近所の美容室の方の参加をいただき「認知症の方への対応や声かけ」等について、ともに学ばれた。

お酒がお好きだった方には、健康状態にも配慮しながらノンアルコールビールを楽しむ機会を作られたり、又、たばこ等についても、禁煙パイプ等も使用しながら持病のことにも配慮して対応されている。園芸がお好きな方にプランターで植物を育て、水やり等を担当していただくような取り組みもされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

医療法人博愛会

(ユニット名)

グループホームしらさぎの里

記入者(管理者)

氏名

渡邊光子

評価完了日

平成22年 5月 13日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念を管理者と職員は共有する為に一番目につく場所に理念を設置し、日々のケアのなかで意識づけ、個別性を重要している。	
			(外部評価) 法人代表者が、「自分らしく」という理念を作成されており、管理者、職員は「利用者一人ひとりの個性や特徴、健康状態等を踏まえながら支援」できるよう取り組みをすすめておられた。又、管理者は、利用者が地域の方達とかかわりながら「自分らしく」暮らしていけるような支援に努めていきたいと話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 近所へ散歩へいつたり、地域に出ていくように心がけている。折り紙、毎月の環境構成に地域のボランティアさんに来てもらっている。	
			(外部評価) 散歩に出かけた際には、出会う方と挨拶をされたり、近所のお宅の花を見せてもらうようなこともある。地域のボランティアの方々や併設デイケアに来られる際には、希望する利用者は参加して踊りを見たり、一緒に歌を歌ったりしておられる。運営推進会議時「認知症の勉強会」を行った際には、案内チラシを管理者が地域の方達に配って回り、参加を呼び掛けられた。勉強会には、近所の美容室の方の参加をいただき「認知症の方への対応や声かけ」等について、ともに学ばれた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症の人を理解していただく為に地域の人々に声掛けをし勉強会をおこなった。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2月に1回、介護保険課、市社協、包括支援センター、老人会会長、民生委員、家族様をまじえ話し合いをもち意見をサービス向上に具体的にいかしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議は、利用者の現況や行事等の活動を報告して、参加者にご意見をうかがっておられる。会議は、法人ビル内の会議室で行われていたが、市の担当者のアドバイスもあり、今後は、事業所内で行い、利用者の様子等も見えていただけるようにする予定となっていた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市町村の担当者より貴重な意見を得る事ができている。課題に取り組むことができている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者の方からのアドバイスもあり、運営推進会議時に「認知症勉強会」を開催されており、地域包括支援センターの担当者の方を講師に迎えて、認知症の理解を深められた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>車椅子使用時に転倒の危険性の高い方が、転倒を防止する為に家族様同意のうえ、時間を決め離床時に抑制帯を使用している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所はビルの4階に位置しており、エレベーターは、職員が暗証番号を入力して使用するようになっている。車椅子を利用する際、安全のために抑制帯を使用している方が複数あったが、状態をみながら見守り等で外された方もある。</p>	
			<p>さらに、抑制帯の使用やエレベーターの利用等、利用者の活動意欲等を抑制していないかも点検してみしてほしい。さらに、ご家族の協力や理解等も得ながら、拘束をしなくてもすむケアの実践に向けて、職員で勉強しながら取組みをすすめていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者と職員は高齢者虐待防止関連法の理解を図るため職員会議で話あつている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在利用者はいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけ十分な説明を行ない、納得を得たうえで手続きを進めている。報酬加算の必要性や重度化に伴う福祉用具等の負担についても説明している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 話やすい雰囲気心がけている、又だされた意見は前向きに検討し結果を説明している。面会時に意見交換をしているが、こられない方には近況などお知らせしている。 (外部評価) ご家族からの「リハビリ行ってほしい」というご意見には、日中の活動の中に「転倒予防体操」を採り入れたり、又「行事が少な目ではないか」というご意見には、年度初めに「年間の行事予定」を作成し、季節の行事等も採り入れて、利用者が楽しむ機会を作っておられた。又、毎日食事介助に来られるご家族から食事等に関してのご意見をいただいたり、運営推進会議に参加いただいたご家族にも、感想を聞きながら「やってみる」ことを大切に取り組みをすすめておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			各セクションのリーダーが運営ミーティングをしており全セクションの意見や提案を反映させている。職員会議で意見を出し合いきめるようになってきている。	
			(外部評価)	
			法人栄養士が立てた食事メニューを職員のアイデア等で工夫することもある。	管理者は、事業所理念「自分らしく」にもとづき、日々「利用者それぞれの思いや意向を大切にしながら細やかな支援をすすめていきたい」と考えておられた。グループホームならではの個別で細やかなケアを実践していくためにも、日中の職員増員等も含めて、職員の意見を聞きながら、この機会に法人代表者も交えて話し合いを行ってほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			運営者は管理者や職員の日頃の努力や具体的な実績、勤務状況等を把握し職員処遇への反映や、配慮がある。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			段階に応じた学びの機会を事業所として計画的に確保している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			代表者より同業所への交流を図るよう指示されている。同一法人内のグループホームでは意見交換はできている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			相談、利用にいたるまでの導入時期は本人の気持ちを大切にしながら安心していただけるよう初期段階の面談等で気持ちを受け止め傾聴している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	本人と家族の思いの違いも含めて、家族の体験や、思いを理解し本人との関係づくりに努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	初期段階で家族の実情や要望をもとに、なにが必要かを見極め事業所として出来る限りの対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	重度さんが多いが共に時を過ごす大切さを学ばせていただく事も多い又本人のもつ個性や力を十分に発揮していただけるよう支援している。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	面会時には出来るだけ家族との話し合いの場を持つ事にしている。本人と家族との関係を大切におもっている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	入所前の馴染みの方々との関係は継続しており面会に来てもらっている。	
			(外部評価)	事業所の近くから入居されている利用者は、散歩時に、知り合いと会うこともあり、おしゃべりすることもある。ご本人がご家族とともに居室で過ごす時間を大切にされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士が支えあっている場面がみられる。利用者同士の関係性を保つため間に職員が入って支援できている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス終了後も相談や支援に応じる姿勢を示している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) その人らしく暮らせる支援に向けて、思いや希望は受けとめている。実現は困難な場合もあるが、本人の視点にたつて検討している。 (外部評価) お酒がお好きだった方には、健康状態にも配慮しながらノンアルコールビールを楽しむ機会を作られたり、又、たばこ等についても、禁煙パイポ等も使用しながら持病のことにも配慮して対応されている。園芸がお好きな方にプランターで植物を育て、水やり等を担当していただくような取り組みもされている。	管理者は、今後、利用者一人ひとりの「その人らしさ」を探っていきたいと考えておられた。さらに、利用者個々の思いや暮らしについての意向等の把握に努めていけるような取り組みをすすめていかれてほしい。個々のアセスメントの充実をすすめ、利用者個々の「自分らしい」、グループホームならではの暮らしを支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族より情報を収集し個々の歴史やサービス利用にいたつた経過を共有し馴染みの暮らし方を把握し実現できるよう努力している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) タイムテーブルを作成し本人の出来る力分かる力を暮らしの中で発見するように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の要望等を伺い本人がよりよく暮らすための課題やケアのあり方について話あつた結果を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>3か月ごとに利用者個々の身体機能等をアセスメントして介護計画を作成されている。ご家族の面会時に支援についての要望をお聞きしたり、日々の申し送り時には、職員からご本人の日頃の様子を聞き取り、又、連携している法人内の訪問看護の担当者の意見等も聞き、ケアマネージャーである管理者が計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の訴えや日々の様子等、気づきを具体的に記入ができています。介護計画の見直しにも役立つ。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>フォーマルなサービスにとどまらずインフォーマルなサービスもある事を家族様にお知らせしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が多様な地域資源と協働していけるよう地域包括、老人会会長、民生委員、ボランティアなど協力を得ている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 本人の訴えや日々の様子等、気づきを具体的に記入ができています。介護計画の見直しにも役立っている。かかりつけ医による医療を受けられるよう支援している。主治医、精神科専門医、歯科の往診もあり信頼をえている。本人の医療面に変化がある場合はご家族と医師の話合いの場がある。</p> <p>(外部評価) 以前からかかっている病院の医師が往診に来てくれる方もいる。又、精神科の医師の往診が月2回あり、服薬や支援を合わせて相談しながら支援されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 当法人の訪問看護ステーションと提携しており医療の必要時には適切な医療、看護が受けられるよう支援されている又職場内の看護職員とは情報の共有はできている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 協力医療機関があり、連携は十分になされている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 重度化した場合、ターミナルのあり方や対応について段階ごとに医師、ケア関係者と話し合い家族様の意向を確認しながら対応できるようになっている。</p> <p>(外部評価) 事業所では、利用者の終末期のあり方等についてご家族の希望等をお聞きして「意向に沿える支援」に努めておられる。これまで事業所内で看とりを支援されたような事例はないが、法人の病院や施設と連携を取りながら、ご家族の希望に応じた支援に努めておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 医療連携があり急変時や事故発生時は連絡網ができています。マニュアルがある。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 非難訓練は年2回おこなっている。夜間想定訓練では他の階のスタッフが応援にこれる体制になっている。災害時に備えての水分は備蓄している。 (外部評価) 3月に、法人施設合同とグループホーム独自で火災想定避難訓練が行われた。職員が水消火器を使って消火体験をされたり、連絡網を使って連絡にかかる時間を点検された。いざという時には、2、3階の併設事業所から職員が応援に来てくれるようになっている。さらに今後は利用者も交えて、4階から利用者を安全に避難させる訓練を実際に行ってみることを予定されていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳や誇りプライバシー確保について常に話あつている利用者の声掛けには特に気をつけている。 (外部評価) 調査訪問時、利用者が洗濯物をたたんでくださったり、職員を手伝ってくれた時等に、職員が「ありがとうございます」と感謝の言葉を伝えておられた。ご本人の誕生日には、プライバシーに配慮しながら、ご本人のこれまでの人生等を紹介して皆に拍手してもらうような場面を作っておられる。管理者は「認知症ケア専門士」の教科書や事例等も用いて、具体的に利用者への声かけや対応等を職員に指導されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の希望や願いを意図的に引出すよう心がけている自己決定を促し支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の訴えや、希望を傾聴しその人のペースにあわしている。発語の無い方については声掛けし表情等観察し対応している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 服選びには自己決定を促している。その人らしいおしゃれができている。又本人のこだわりを傾聴している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 後かたづけや配膳等できることはお願いして助けてもらっている。又食べたい物は無いか常に聴くようにしている。食事を楽しむ事ができるよう利用者に味をみてもらっている。 (外部評価) 法人の栄養士が立てる献立にもとづいて、食事作りをされており、職員は、鮮度の安全な食品を選び、買い物をするよう心がけておられる。時に、法人代表者も食事とともにされて「薄味の味付けにするよう」等アドバイスをされている。出来るだけ利用者がご自分で食事できるよう、スプーンや食器等を介護用のものにされたり、食事の形態等もそれぞれに合わせておられた。食事の前にはテーブルを拭いておられる利用者もみられた。	事業所手作りのおいしい食事を利用者それぞれがさらに楽しむことができるよう、職員のかかわり方等について工夫を重ねていかれてほしい。職員も利用者と一緒に食事することはできないだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランス面において管理栄養士がたてたメニューにもとづいてスタッフが調理している。水分摂取については声掛けしながら十分摂取できている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後必ず支援できている。夕食後は念入りなケアを心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 失禁の多い人にも早めの誘導でリハパンを使用することなく支援できている。排泄チャートは使用していないがスタッフは把握できている。 (外部評価) 職員は、利用者に声かけし、トイレに誘導するようにされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質のあるものを毎日摂取できている。腸のぜん動運動を促すため歩行や適度の運動をおこなっている。家族と相談しながら自然排便を促しているが、困難な方には医師に報告し対応している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 特浴においては曜日を決め入浴を支援している。普通浴においては入りたい日に入浴を支援している。 (外部評価) 週に2回入浴日を設けておられたが、運営推進会議等の話し合いの中で、事業所の浴室を利用される方は「希望する日」に入浴できるようにされた。現在は、夕方入浴するようになっており、できるだけ自分で体を洗えるように見守りながら支援されている。特浴を使用される方は、職員が2名で対応して安全に入浴できるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 本人の生活習慣や活動状況、ストレスの状態等を把握でき支援できている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 主治医との連携を密にとり、症状の変化等、報告している。又誤薬を防ぐため、必ず確認をとり服薬支援をおこなっている。薬の目的等については理解している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 併設のデイに参加できるようになっている。個別性に力をいれベランダで野菜を育てている利用者もいる。嗜好品においては、各居室において支援できている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族様の協力のもと毎日戸外へでられる方もおられる。利用者の気分転換のため近くに散歩にいつている。	
			(外部評価) 管理者は、一日に2名ずつ散歩できるよう機会を作っておられる。利用者が外を眺めているような時には「出かけますか」とお誘いする時もある。近くのスーパーに行ったり、春には、利用者個々の体調等もみながら、お花見や近所の桜のきれいな場所に出かけられた。	さらに、外に出るような機会を増やして、利用者の生活を上げていかれてほしい。ご本人の行きたいところやなつかしい場所等をたずねるような機会も作ってみてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 可能な方には一諸に買い物に行き支援できている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は希望時かけられるよう支援できている。年賀状、暑中見舞い等だされる方もあり支援できている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 四季を感じさせる花や観葉植物を置くようにしている。できるだけ家庭的な雰囲気を出すよう工夫している。光に強さはカーテンの開閉や照明などで調節している。	
			(外部評価) 朝、共用空間の掃除をしてくださる利用者がある。事業所入口に、ご家族からいただいたお花を飾っておられたり、ボランティアの方と作成したアジサイとカエルの壁面飾りも見られた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 指定席の他対面キッチンの椅子、ソファとそれぞれ、思い思いの場で過ごされている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 今まで使用されていたタンスやソファを持ち込まれたり、大切な人の写真を飾ったりされている。居室はきれいに整理し掃除にこころがけている。	
			(外部評価) 居室のドアは障子風になっている。西日をさえぎるようにすだれのカーテンをされている方もあった。収納ケースにパット等の介護用品等を整理しておられたり、利用者の方が塗った絵の入ったカレンダーを貼っておられる居室もあった。テレビを持ち込んでおられる方もあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 身体機能の低下にともない手すりを要所へ設置している。又場所の失見を防ぐためトイレが分かるようにはついている。時の見当識には見やすいところに時計を設置している。各居室には季節感を感じさせるカレンダーを毎月用意し書き込めるようにしている。毎日、曜日、時間等おしらせしている。	
			(外部評価)	